

黒田みち

たんぽぽだより NO198 (2019年2月・3月)

栃木県足利赤十字病院 「全室個室」 柔軟に

足利赤十字病院 (院内の写真はブログ 2月 9日付けに掲載中)



「全室個室」に対する川西市民の声を投げかけると・・・

Q、患者さんの中には、個室じゃない方が良い方もあるのでは?

A、はい。患者さん同士で刺激しあった方が良いリハビリ病棟50床では、4人部屋が9部屋あります。ロッカーなどで仕切って、半個室のようです。

小児科は兄弟で入院ってこともあるので2人部屋を2部屋。

Q、個室だったら緩和ケア病棟はなくても良いですか?

A、緩和ケア病棟に入院される患者さんは、特別な配慮の必要な方。一般的な患者さんとは区別しています。特に、家族へのサポートが必要で、広さやナースステーションの近くやキッチンなど配慮しています。病室が空いていたら、一般的な患者さんが入院されることも。

無料個室もトイレ付き

川西市では全室個室化の理由を「感染予防のため」と言ひながら無料個室(7割)にはトイレもなく、共用トイレを利用。でも、ここでは、全ての無料個室にトイレと19型テレビ(有料)。2000円と2500円個室にはトイレと無料19型テレビ・冷蔵庫。6000円個室にはトイレ・シャワー・ソファベッド、無料19型テレビ・冷蔵庫。9500円と15000円個室はテレビが42型に。やはり無料ベッドから埋まっていくそうです。

ベッドコントロールが大切とのこと。地域支援病院、災害拠点病院、紹介・逆紹介率70%程度。1日の平均退院数は30~40名。年間救急搬送数は11794件(ウォークイン7699件、救急車4049件、Drヘリ22件、Drカー24件)

300名収容の講堂、風力発電の風車(トリアージ4色)配置など、大規模災害の備えも万全でした。

市民の声や願いが

特別のことではなく、当たり前のこととして対応されている2施設の視察。勉強になりました。

2011(H23)年7月開院

28診療科 555床、一般500床(緩和ケア19、回復期リハ50)精神40
結核15 医師132名を含む1177名体制

入院1病棟35床で対応 入院稼働率95%

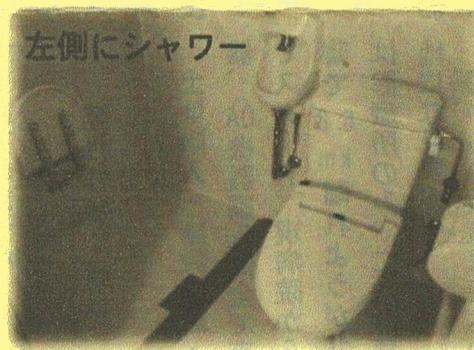
建設費約160億円、医療機器約50億円

57403m²の土地は市の無償貸与 無料駐車場 約1000台

個室は無料ベッドが6割(13.39m²~多少広さの違いがあります)
有料ベッドが4割(2000円から15000円まで5段階)

今回の視察で特に感じたことは、市民の不安や不満、願いを当然の声と受け止め、自治体や病院が応えていること。「これしかない」と突き進む川西市の異常さがよくわかりました。

建設から35年しか経っていない現市立川西病院。建物を壊すことは簡単にできますが、「まち」そのものが壊れてしまいます。安心・安全で日常を送ることができる「まちづくり」こそ進めていくべきではないでしょうか。



6000円の個室

15.90m²~



市民や病院現場をないがしろにして突き進んでいるため、4月からの指定管理者への移行にむけて混乱している実態が地域から伝わってきます。市民の命の砦を守るためにも声をあげましょう。

市民の財産・宝物を守れ!

「北部の病院」地域医療を守りたい!

金田峰生兵庫国政所長と一緒に・・・

1月24日、山下よしき参議院議員(党副委員長)にお世話になって、私(黒田)は、金田峰生兵庫国政事務所長(写真左)と共に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律の運用について」「公立病院が策定した「経営改革プラン」の位置づけについて」「新ガイドライン」と「地域医療構想」の法律的位置づけと地方公共団体の役割について厚生労働省 医政局 地域医療計画課、総務省 自治体局 準公営企業室の職員の方々にお話しを伺いに行ってきました。

市立川西病院が2016(H26)年度の決算で資金不足比率が、経営健全化基準20%を超えたことにによる経営健全化計画の位置づけ、国と自治体との関係など詳しく質疑させていただきました。

川西市と兵庫県との関係などをしっかり勉強して、北部の病院存続に向けて全力で取組みます。

